

FUJITSU Digital Business College ご紹介



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

FUJITSU Digital Business College とは

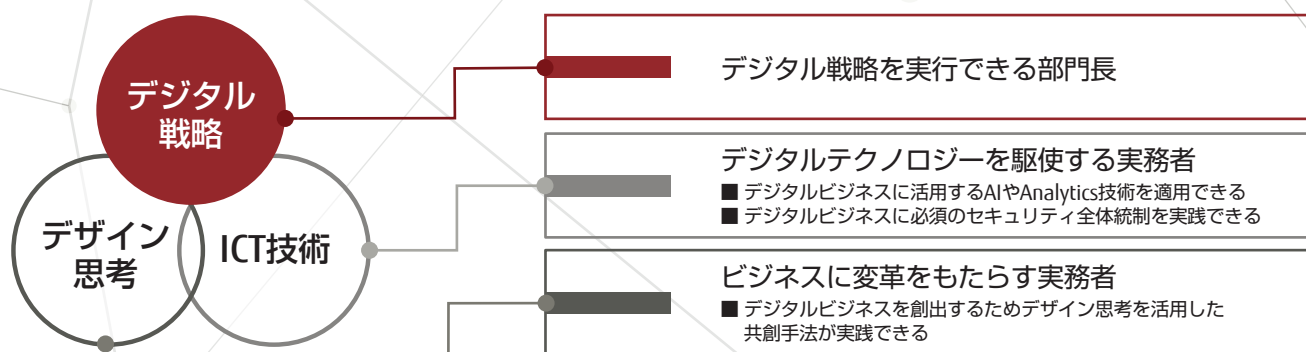
近年、AIやビッグデータ、IoTをはじめとするデジタル技術の進展により、高度なICT技術を活用して新たな価値を創出できる人材が求められています。

企業の情報システム部門は、社内システムの開発や運用に加え、全社のデジタル化を推進する役割が求められており、AI活用や、ビッグデータ分析、サイバー攻撃対策などの様々なICT技術に関する知識やノウハウ、イノベーションを推進できる思考法を身に付けておく必要があります。

このような課題に対応するために、富士通は、各業界における第一人者の知見と、富士通のデジタル技術の開発や活用実績のなかで得られた知見・ノウハウ、さらに富士通ラーニングメディアの豊富な人材育成の実績により、デジタルビジネスを推進する人材育成を狙いとした「FUJITSU Digital Business College」を提供します。

デジタルビジネスを推進する人材像

デジタルビジネスを推進するためには、「デジタル戦略」「デザイン思考」「高度なICT技術」を適用・実践できる人材の育成が必須であると考えています。



WHY FUJITSU? ～ネットとリアルを活用した高度なICT教育を提供します～

- 1 富士通が保有するデジタルビジネスを支える高度なICT技術、約1,500件のPOCを実践したICT技術活用のノウハウを提供します。
- 2 デジタルビジネスに活かせる体感、体験できるICT基盤や実践に活用できるビッグデータ環境を提供します。(デジタルビジネス・プラットフォームMetaArcや、Human Centric AI Zinraiなど)
- 3 年間8万人以上のICT人材育成の実績がある国内最大規模の富士通ラーニングメディアが持つ人材育成のノウハウと多様な学び方を提供します。(50年以上の経験に基づき開発したeラーニング約200コースを自由に学習できます)

特長

1 デジタル戦略を実行する人材(部門長)とデジタルビジネスの成功に必須な3つのICT技術を駆使できる人材(実務者)を育成する4種類のコースを提供

部門長には、OIG (米国シリコンバレー) を拠点としたワークショップ型海外研修を含め、デジタルビジネスを実行できるマネジメントを学んでいただきます。実務者クラスには、最先端のデジタル技術の知識や活用スキル、思考法を習得し、実務でのデジタル革新を目指していただきます。

コース		期間(受講日数)		定員	価格(税別)
部門長向け	「デジタル戦略」コース 『デジタルビジネスイノベーター』	4ヶ月 (のべ6日間)	・月に1～2日間 ・期間内に約1週間の海外ワークショップ研修	40名	100万円※
実務者向け	「デザイン思考」コース 『新たなビジネスを共創するイノベーター』	6ヶ月 (のべ22日間)	・月に3～4日間	30名	200万円
実務者向け	「AI・Analytics」コース 『AI・データ分析を活用するイノベーター』	6ヶ月 (のべ24日間)	・月に4日間	30名	200万円
実務者向け	「Security」コース 『Cybersecurity CSIRTコマンダー』	6ヶ月 (のべ24日間)	・月に4日間	20名	200万円

※海外ワークショップ研修の渡航費用は含みません。



イノベーションの中心である米国シリコンバレーでお客様をはじめ先進的なスタートアップやベンチャーキャピタル、大学・研究機関と新しいビジネス創出・拡大を目指す「Open Innovation Gateway - Powered by FUJITSU」において、世界的なイノベーターや実務家とのワークショップなどを実施します。

※実務者向けは卒業後のオプション（有償）として実施予定

2 様々な分野の第一人者によるコース監修・講演

様々な分野の第一人者を各コースの監修者・講演者としてお迎えし、富士通×第一人者の共創による実践的なコースを提供します。人間の営みである知を土台にした経営論「知識創造経営」の第一人者である、多摩大学大学院経営情報学研究科教授の紺野登氏に監修委員長として全体を監修いただきます。

監修委員長

紺野 登 多摩大学大学院 教授 KIRO研究所



早稲田大学理工学部(現・理工学術院創造理工学部)建築学科卒業。株式会社博報堂マーケティング・ディレクターを経て、現在KIRO株式会社(旧株式会社コラム)代表、多摩大学大学院教授(知識経営論)。博士(経営情報学)。多摩大学・知識リーダーシップ総合研究所(IKLS: Institute of Knowledge Leadership Studies)・所長(2008-2010)の後現在同教授。京都工芸繊維大学新世代オフィス研究センター(NEO)特任教授。同志社大学ITEC(技術・企業・国際競争力研究センター)客員フェロー、東京大学i.schoolエグゼクティブ・フェロー。著書に『ビジネスのためのデザイン思考』『利益や売上げばかり考える人は、なぜ失敗してしまうのか(目的工学)』『知識デザイン企業』など、野中郁次郎氏との共著に『美徳の経営』『知識創造の方法論』『知力経営』『知識経営のすすめ』などがある。

部門長コース監修



澤谷 由里子

東京工科大学大学院
バイオ・情報メディア研究科教授

デザイン思考コース監修



山崎 和彦

千葉工業大学
先進工学部知能メディア工学科教授
工学研究科デザイン科学専攻教授

AI・Analyticsコース監修



松井 くにお

金沢工業大学工学部
情報工学系情報工学科教授

Securityコース監修



佐々木 良一

東京電機大学教授

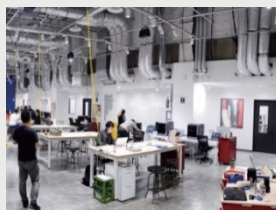
3 新たな発想がうまれるワークショップ型に最適な共創スペースを活用

共創を生み出すオープンスペース「FUJITSU Digital Transformation Center」や、モノづくりで新たなイノベーションを生み出す「TechShop Tokyo」、子供ごころに戻って本音の対話を行う「CO☆PIT」などを活用し、受講者のアイデア創出を支援します。

FUJITSU Digital Transformation Center



TechShop Tokyo



CO☆PIT



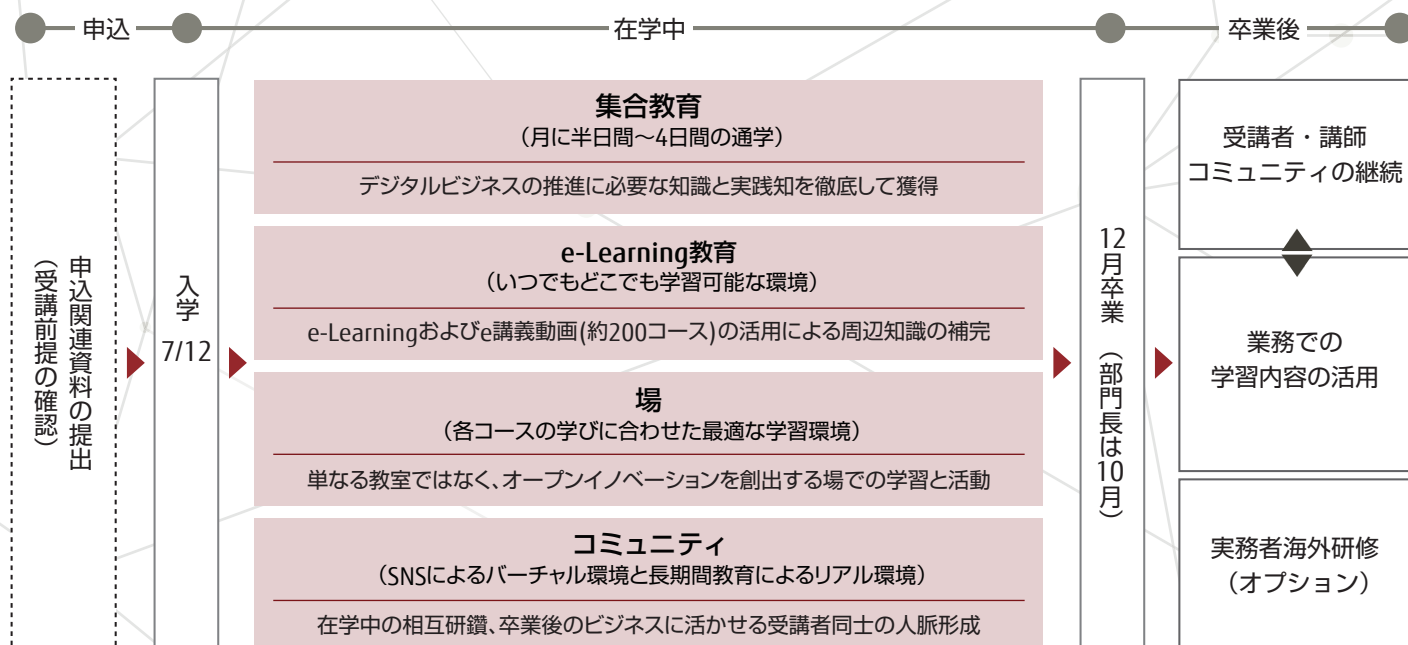
HAB-YU platform



4 企業の枠を越えたコミュニティの構築とフォローアップ

デジタルビジネス創出の鍵であるオープンイノベーションには、様々な企業との連携が必要です。カレッジ卒業後も、受講者同士や各コースを担当する有識者との継続的なリレーションを実現するコミュニティを構築し、実ビジネスでの人脈作りを支援します。

カレッジ受講の流れ



お申込み

1 担当営業へのお申込み (6月30日締切)

御社を担当いたしております、当社営業とのご契約にて、お申込みいただけます。
詳細は、担当営業にお問い合わせください。

2 Webによるお申込み (6月12日締切)

富士通WEB MART forクラウドの人材育成メニューより、お申込みいただけます。
以下のページより、お手続きをお願いいたします。
<https://cloud-direct.jp.fujitsu.com/pages/productinfo/1303>

お申込み後

入学後のコース運営（チーム分けなど）に利用するために、申込み関連資料を提出いただきます。
詳細は、株式会社富士通ラーニングメディアより、お申込みされた方にご連絡をいたします。

入学式

入学式を、7月12日の午後に開催いたします。
場所：FUJITSU Digital Transformation Center（浜松町）
詳細はお申し込みされた方へご連絡いたしますが、ご予約をお願いいたします。

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

URL: <http://www.fujitsu.com/jp/college/> (製品情報) <https://cloud-direct.jp.fujitsu.com/> (Webによるお申込み)

FUJITSU Digital Business College 部門長向け「デジタル戦略」コース 『デジタルビジネスイノベーター』



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

部門長向け「デジタル戦略」コース 『デジタルビジネスイノベーター』

グローバルに最先端デジタルビジネスを体験し、10～20年後の社会変化を洞察し未来指向でビジネスビジョンを描くスキルや、デジタルイノベーションをリードするマインドや視点を醸成します。

コース概要

Disruptive technology (破壊的技術)によって世界がイノベーションの転換点を迎えている中で、既存のプレイヤーだけではなく、世界のベンチャーにも目を向け、デジタルビジネスを捉え、考えることが求められます。最先端のデジタルビジネスに触れることで、自社ビジネスの延長ではなく、10年後・20年後の社会変化を洞察したうえでのビジネスビジョンを描き、その実現に向けたデジタルビジネスイノベーションマインドを醸成します。さらにデジタルトランスフォーメーションをリードするための視点を持ち、自社ビジネス・自組織への展開を検討していただきます。

対象者

情報システム部門長および新規ビジネス企画部門長 ※部長以上の方を想定しております

開催情報

定員 40 名 (最低開催人数 20 名)

開催場所：FUJITSU Digital Transformation Center、Open Innovation Gateway (シリコンバレー)、など

ゴール

これからの情報システム部門の役割

開発・運用保守の「守り」から、自社ビジネスに貢献できる「攻め」の情報システム部門として、他部門 (特にビジネス部門) との連携や共創が求められる

部門長に求められる能力

知識

- 1 現在の国内外におけるデジタルビジネスの潮流
- 2 テクノロジーの進展が社会にどのようなインパクトをもたらすのか、またそれは自社ビジネスにどのような影響を及ぼすのかを洞察するための情報

スキル

- 1 イノベーション創出に向けたビジネスデザインができる
- 2 ビジネス変革に向け、社員が動きやすい組織をデザインし、マネジメントできる
- 3 イノベーション促進に向け、既存の枠組みにとらわれないリーダーシップを発揮できる

マインド

- 1 ビジネス変革やイノベーションを進めていくためのイントレプレナーシップ (企業内起業家マインド) を有している
- 2 過去の経験則に縛られない発想・思考・行動を柔軟に受け止めることができる

修了時のゴール

- 1 部門長として、「情報システム部門 (または所属部門) が自社のデジタルビジネスを牽引していく」という強い当事者意識と自覚が醸成できている
- 2 より大きなデジタルトランスフォーメーションのために、経営の観点から自らが組織連携の旗振り役になり、革新を推し進めることができる
- 3 デジタルビジネスを牽引する立場の参加者同士のビジネスネットワークを構築できている

コース監修

澤谷 由里子 東京工科大学大学院バイオ・情報メディア研究科教授



東京工業大学大学院修士。東京大学大学院総合文化研究科Ph.D(学術博士)。
日本アイ・ビー・エム株式会社入社、情報技術の研究開発及び戦略、2005年からサービスサイエンス研究に従事。2013年4月早稲田大学教授を経て、現職。
経済産業省 産業構造審議会 商務流通情報分科会「情報経済小委員会」、「攻めのIT投資評価指標策定委員会」委員等。
INFORMS Service Science Editorial Board、サービス学会理事、研究・イノベーション学会理事、早稲田大学大学院経営管理研究科非常勤講師、ナノ・ライフ創新研究機構客員上級研究員等を兼任。
専門分野は、サービスサイエンス、サービスデザイン、R&Dマネジメント、技術経営。

開催日程

学習の流れ	日程	内容	講演・講師
デジタルビジネスイノベーションマインドの醸成	7月28日(金)	イノベーションリーダーシップ デジタルビジネス時代におけるイノベーションリーダーシップの必要性を理解し、自社IT部門の在りたい姿を設定する ワークショップ 『2030年のIT組織を創ろう』 情報システム部門長として、本当にやりたいことの抽出、未来図の設定、アイデア出しを行う	東京工科大学大学院 澤谷 由里子 教授
	8月4日(金)	イントレプレナーシップ ビジネス変革に必要な推進力の1つであるイントレプレナーシップを発揮し、どう組織連携していくかを設計する ワークショップ 『組織連携の仕組みを創ろう』 3〜4人のチームを結成し、事前課題の分析を通じて、組織連携の仕組みを創る	東京工科大学大学院 澤谷 由里子 教授
	8月21日(月)	デジタルビジネスの潮流 国内を中心としたデジタルビジネスの隆盛と最新動向について、デジタル(テクノロジー)およびビジネスの双方の視点から学ぶ ワークショップ デジタルビジネス企業やデジタルビジネスを1つの事業としている企業の特徴や傾向について議論し、成否のポイントを探る	国内デジタルビジネス 先進企業 2〜3社
シリコンバレー流のオープンイノベーション、デジタルビジネス、デザイン思考、リーン・マネジメントの理解	9月4日(月)	日本発⇒米国着	海外デジタルビジネス 先進企業 2〜3社 など
	9月4日(月) 【米国時間】		
	9月5日(火) 【米国時間】	海外ワークショップ研修 海外(米国)におけるデジタルビジネスの潮流 米国におけるデジタルビジネスの最新動向や、イノベーション創出に向けたビジネス変革・組織デザインの考え方・部門長が有すべきリーダーシップやマインドを学ぶ ワークショップ オープンイノベーションについて、「Digital Co-creation」のキーとなるシリコンバレー流のオープンイノベーションを考察する。また、シリコンバレー流のデジタルビジネス、デザイン思考、リーン・マネジメントについて、各有識者のセッションを踏まえた対話・討議を行う	
	9月6日(水) 【米国時間】		
	9月7日(木) 【米国時間】		
	9月8日(金) 【米国時間】	米国発⇒日本着	
9月8日(金)			
デジタルトランスフォーメーションに向けた 自社・自部門の組織デザインへの適用	9月25日(月)	イノベーションとテクノロジー 今後のテクノロジーの発展が社会にもたらすインパクト、および企業にもたらすビジネスインパクトを、未来予測の観点で考察する ワークショップ 2030年、現在の最新テクノロジーが社会や自社にどのようなビジネスインパクトをもたらすのかを議論し、未来予測をする	株式会社アクアビット 田中 栄 代表取締役
	10月5日(木)	イノベーションとビジネス思考 イノベーション創出やビジネス変革にあたり、デジタルビジネスの潮流を踏まえ、企業としてビジネスモデルをどう捉え直し、戦略を立てていくべきなのかを学ぶ ワークショップ デジタルビジネスの隆盛によって、業界のビジネスモデルがどのように変化するかを議論し、自社ビジネス戦略案に適用させる	Eminence LLC 今枝 昌宏 代表
	10月下旬	組織のデザインとマネジメント より大きなデジタルトランスフォーメーションに向け、CIO（Chief Information-Officer）からCDO（Chief Digital Officer）への転換をどう図るべきかを、組織デザインと人材マネジメントの観点から学ぶ ワークショップ ビジネス変革に向け、組織の具体的なデザイン方法や部門長としてのマネジメント方法を議論し、CEOに対する提案書を作成する	多摩大学大学院 紺野 登 教授

全体コーディネート 富士通ラーニングメディア

全体コーディネーション 富士通ラーニングメディア

講師および講演者ご紹介



紺野 登 多摩大学大学院 教授 KIRO 研究所

早稲田大学理工学部(現・理工学術院創造理工学部)建築学科卒業。株式会社博報堂マーケティング・ディレクターを経て、現在KIRO株式会社(旧株式会社コラム)代表、多摩大学大学院教授(知識経営論)。博士(経営情報学)。多摩大学・知識リーダーシップ総合研究所(IKLS: Institute of Knowledge Leadership Studies)・所長(2008-2010)の後現在同教授。京都工芸繊維大学新世代オフィス研究センター(NEO)特任教授。同志社大学ITEC(技術・企業・国際競争力研究センター)客員フェロー、東京大学i.schoolエグゼクティブ・フェロー。著書に『ビジネスのためのデザイン思考』『利益や売上げばかり考える人は、なぜ失敗してしまうのか(目的工学)』『知識デザイン企業』など、野中郁次郎氏との共著に『美徳の経営』『知識創造の方法論』『知力経営』『知識経営のすすめ』などがある。



田中 栄 株式会社アクアビット 代表取締役 チーフ・ビジネスプランナー 有限責任あずさ監査法人 KPMG ジャパン 総合研究所 顧問

1990年、早稲田大学政治経済学部卒業。同年(株)CSK入社、社長室所属。CSKグループ会長・故・大川功氏の下で事業計画の策定、業績評価など、実践的な経営管理を学ぶ。1993年マイクロソフト(株)入社。WordおよびOfficeのマーケティング戦略を担当。1998年ビジネスプランナーとして日本法人の事業計画立案を統括。さらにXboxの創業メンバーとして、ビジネスの全体設計を担う。2002年12月に同社を退社後、2003年2月(株)アクアビットを設立し、代表取締役に就任。幅広い分野の企業で中長期戦略立案を支援。戦略やビジョンを議論するための前提として、2004年から法人向けレポート「未来予測レポート」シリーズを刊行。シリーズ累計で1300社以上に導入。2015年5月、あずさ監査法人KPMGジャパン 総合研究所 顧問に就任。(現職) ROA/ROEを高めることをテーマに、中長期的なニーズの変化に応える新規事業の創出を推進。



今枝 昌宏 Eminence LLC 代表

北海道大学 / 京都大学大学院法学研究科卒業、エモリー大学ビジネススクール MBA 課程修了。PwC コンサルティング、日本アイ・ビー・エム理事 兼 IBM BCS パートナー 通信・メディア・公益事業本部長、RHJ インターナショナル・ジャパン(旧リップルウッド) ヴァイス・プレジデントなどを歴任。

【著作】『ビジネスモデルの教科書』(東洋経済、2014年)、『サービスの経営学』(東洋経済、2010年)、『戦略立案ハンドブック』(東洋経済、翻訳、2002年)、『実践・シナリオプランニング』(東洋経済、共著、2002年)、一橋ビジネスレビュー、Think! などへの論文、記事多数

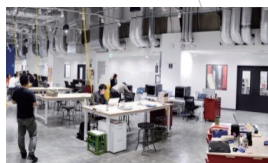
※講師および講演者は、確定次第、Webサイトに掲載いたします

シリコンバレー Open Innovation Gateway でのワークショップ



イノベーションの中心である米国シリコンバレーでお客様をはじめ先進的なスタートアップやベンチャーキャピタル、大学・研究機関と新しいビジネス創出・拡大を目指す「Open Innovation Gateway - Powered by FUJITSU」において、世界的なイノベーターや実務家とのワークショップなどを実施します。

会員制オープンアクセス型DIY工房"TechShop Tokyo"の無償利用特典について



<http://www.techshop.jp/>

米国サンフランシスコ・ベイエリア生まれの"TechShop"は、「会員制オープンアクセス型DIY工房」です。広大な空間に、木工・金属加工などの本格的なDIYスペースのほか、3Dプリンターやレーザーカッターなど、最新鋭のデジタル工作機械を多数取り揃えており、会員は必要なトレーニングを受ければそれらの機材を使い放題。工房に集う人々が形成するコミュニティによって日々オープンイノベーションが実践され、これまでに100件を超えるビジネスが生み出されています。富士通は、米TechShop, Inc.との戦略的パートナーシップに基づき2015年10月テックショップジャパン株式会社を設立。2016年4月には、アジア第1号店となる"TechShop Tokyo"を赤坂アークヒルズにグランドオープンしました。

本コース受講の皆様は、受講期間中この"TechShop Tokyo"をご利用いただけます。

セミナー価格 / お申し込み方法

■ 価格

1名あたり 100万円(税別)

※海外ワークショップ研修の渡航費用は含みません。

■ お申込み

担当営業へのお申込み 6月30日締切

Webによるお申込み 6月12日締切

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

URL: <http://www.fujitsu.com/jp/college/> (製品情報) <https://cloud-direct.jp.fujitsu.com/> (Webによるお申込み)

社会とお客様の豊かな未来のために

実務者向け「デザイン思考」コース 『新たなビジネスを共創するイノベーター』

様々な業界のリーダーたちとの実践、富士通の先端技術とデザイナーのデザインノウハウによって、社会や人を中心に考えるオープンなイノベーションのためのリーダーシップやイントレプレナーシップを育みます。

コース概要

「イノベーションをデザインするためには、どのような思考が求められるのか」スタンフォード大学d.schoolに代表される世界中のビジネスパーソンが学んでいる最先端のイノベーションのための思考法を学びます。国内や企業内に閉じていては、新しい価値を創出することはもはやできません。また、企業内に閉じた発想や人材ではなく、グローバル社会の中で生き抜くためには、より大胆でオープンな人材が必要とされてきています。より社会を良くするためのオープンイノベーションを実現するために欠かせないマインドや思考・視点を様々な業界のリーダーたちとの実践、富士通の先端技術とデザイナーのデザインノウハウによって、社会や人を中心に考えるオープンなイノベーションのためのリーダーシップやイントレプレナーシップ(社内企業家精神)を育みます。

対象者

自組織において、業務改革または新規ビジネス創出の推進が求められる方

開催情報

定員30名(最低開催人数10名)

開催場所: 富士通ラーニングメディアCO☆PIT、HAB-YUを中心に、東京近郊会場を予定

目指す人材像

1

デザイン思考^{*}とそれを活用したビジネス企画力を身に付けることにより、ICTを活用した新規ビジネスの創出やその支援ができる

※デザイナーがデザインを行う際に用いる考え方や手法、プロセスを、ビジネスに利用できるように体系化したもの

2

Digital Co-creation人材(自社のデジタル戦略に基づき、未来に向けたシナリオ作成、課題の発見と設定、アイデア検討、仮説検証(PoC)、事業運営(PoB)を最新のテクノロジーとデザイン思考を基礎とした共創手法を活用し、推進するプロフェッショナルな人材)となる

到達目標



デザイン思考の方法論を学び、実践する



ビジネス創出における各種手法を学び、実践する



ICT関連の技術動向に触れ、ビジネス企画の創発力を養う

コース監修

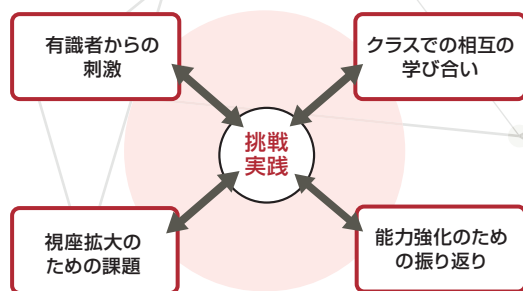


山崎 和彦 千葉工業大学 先進工学部知能メディア工学科教授 工学研究科デザイン科学専攻教授
京都工芸繊維大学卒業後、クリナップを経て、2003年日本IBM(株)UXデザインセンター長(技術理事)。
博士(芸術工学)、東京大学大学院博士課程満期退学。
グッドデザイン賞選定委員、経産省デザイン思考活用推進委員会座長など歴任。現在は、人間中心設計機構副理事長、日本デザイン学会評議員。iF賞(ドイツ)、IDEA賞(米国)など国際的なデザイン賞受賞および国際会議等での講演多数。現在は教育とHCD/UXやデザイン戦略に関わるコンサルティングに従事。
著書に『IBMの思考とデザイン』『エクスペリエンス・ビジョン』『人間中心設計入門』などがある。

開催日程

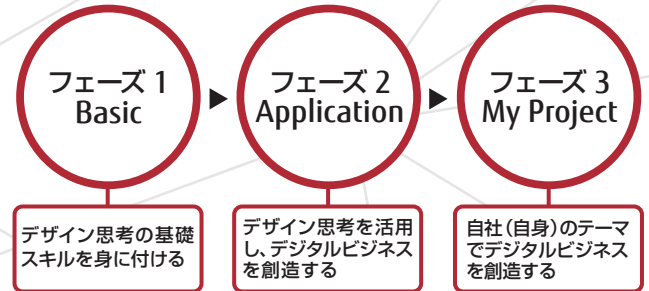
Point

徹底的に実践・反復し、自分なりのアプローチを身に付けます



Point

3つのフェーズに分けて、22日間の講座を行います



学習の流れ	日程	内容	講演・講師
デザイン思考を 体感する	7月20日(木)	デザイン思考とは何かを学びます。 講演 『なぜデザインなのか、デザイン思考とは何か』 (山崎氏) 『デザインと革新』 ～デザインの文法を体感する～ (太刀川氏) 『0から1へのアプローチ』 (加藤氏) 『プロトタイピングの意義と重要性』 (原田氏)	千葉工業大学 山崎 和彦 教授 NOSIGNER 太刀川 瑛弼 代表
	7月21日(金)		富士通株式会社 デザイナー
	8月7日(月)	トピック デザイン思考体験、富士通の実践事例、ワークショップデザイン、ファシリテーション、フィールドワーク、アイデア作り、プロトタイピング	Genkei.LLC 加藤 大直 共同代表
	8月8日(火)		二象舎 原田 和明 氏
デジタルビジネス(サービス)を プロトタイプする	8月22日(火)	テクノロジー (FinTech、HealthCareTechなど) をテーマとした ビジネスのデザイン課題を通して、デザイン思考を適用する能力を高めます。 受講者同士でのチームングにより、グループで課題に取り組みます。	富士通株式会社 本多 達也 氏 福岡地域戦略推進協議会 原口 唯 氏
	8月29日(火)		
	8月30日(水)	講演 『Ontennaに込めた思いと具現化ストーリー』 (本多氏) 『課題発見・検証技法とフィールドへのアプローチ』 (原口氏) 『イノベーションとリーダーシップ』 (仮) (紺野氏)	
	9月12日(火)	トピック ビジネス創出に向けたプロセスデザイン、仮説立案、フィールドワーク、インタビュー、インサイト抽出、アイデア作り、プロトタイピング、検証、プレゼンテーション、フィードバック、活動の振り返り	
	9月13日(水)		
	9月26日(火)		多摩大学大学院 紺野 登 教授
PBL (Project Based Learning) に基づき、 マイプロジェクト(個人)として実践する	9月27日(水)	アントレプレナーとイントレプレナーによる講演と講演者とのディスカッション を行います。 講演 『私の創業への思い』アントレプレナー×イントレプレナー (吉田氏、花井氏、岡部氏)	Payke 古田 奎輔 代表取締役CEO eicon founder 花井 亜由子氏 ノリス株式会社 岡部 顕宏 代表取締役
	10月3日(火)	ビジネスモデルデザインと、シナリオプランニングを学びます。 講演 『ビジネスモデルデザインの実践的アプローチ』 (山本氏) 『シナリオプランニングとデザイン思考』 (新井氏)	(一社)ビジネスモデル イノベーション協会 山本 伸 理事 株式会社スタイリッシュ・アイデア 新井 宏征 代表取締役
	10月10日(火)		株式会社HEART CATCH 西村 真里子 代表取締役
	10月11日(水)	参加者の自社のテーマに対して、 デザイン思考を用いてビジネスデザインを行います。	
	10月31日(火)	講演 『デジタルテクノロジートレンドとイノベーション』 (西村氏) 『ユーザーとメディアを巻き込む新規事業創出』 (木内氏) 『UPQブランドへの思い』 (中澤氏)	
	11月7日(火)		
	11月8日(水)		
	11月21日(火)	トピック テーマ選定、プロジェクト発足、シナリオプランニング、課題検討、仮説立案、机上調査、アイデア検討、実地調査、フィールドワーク、インタビュー、仮説検証、プロトタイピング、検証、改良、事業企画、プレゼンテーション、事業提案、全体振り返り	
	11月22日(水)		
	12月4日(月)		株式会社サイバーエージェント クラウドファンディング 木内 文昭 取締役 株式会社UPQ 中澤 優子 代表取締役社長
	12月5日(火)		
	12月20日(水)		千葉工業大学 山崎 和彦 教授

富士通ラーニングメディア デザイン思考ワークショップ 担当講師

【講義時間】 9:00～17:00

< 本資料は、2017年5月25日(木)時点での情報です。内容・日程・登壇者は変更になる場合があります。 >

講師および講演者ご紹介



紺野 登 多摩大学大学院 教授 KIRO 研究所

早稲田大学理工学部(現・理工学術院 創造理工学部)建築学科卒業。株式会社博報堂マーケティング・ディレクターを経て、現在 KIRO 株式会社(旧株式会社コラム)代表、多摩大学大学院教授(知識経営論)。博士(経営情報学)。多摩大学・知識リーダーシップ総合研究所(IKLS: Institute of Knowledge Leadership Studies)・所長(2008-2010)の後現在同教授。京都工芸繊維大学新世代オフィス研究センター(NEO)特任教授。同志社大学 ITEC(技術・企業・国際競争力研究センター)客員フェロー、東京大学 i.school エグゼクティブ・フェロー。



太刀川 瑛弼 NOSIGNER 代表 慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント科 特別招聘准教授

ソーシャルデザインイノベーション(社会に良い変化をもたらすためのデザイン)を生み出すことを理念に活動中。建築・グラフィック・プロダクト等のデザインへの深い見識を活かし、複数の技術を相乗的に使った総合的なデザイン戦略を手がけるデザインストラテジスト。その手法は、世界的にも評価されており、Design for Asia Award大賞、PENTAWARDS PLATINUM、SDA最優秀賞、DSA空間デザイン優秀賞など国内外の主要なデザイン賞にて50以上の受賞を誇る。



新井 宏征 (株)スタイリッシュ・アイデア 代表取締役 産業技術大学院大学 非常勤講師 早稲田大学エクステンションセンター講師

SAP ジャパン、情報通信総合研究所(NTT グループ)を経て、現在はプロダクトマネジメントやシナリオプランニングの考え方を応用し、事業と組織の両面からクライアントの変革を支援するコンサルティング活動に従事。東京外国語大学大学院、Saïd Business School Oxford Scenarios Programme 修了。訳書は、『世界のエグゼクティブが学ぶ。誰もがリーダーになれる特別授業』、『成功するイノベーションは何か違うのか?』、『プロダクトマネージャーの教科書』、『90 日変革モデル』(すべて翔泳社)など。主な著書は、『世界のインダストリアル IoT 最新動向 2016』、『スマートハウス/コネクテッドホームビジネスの最新動向 2015』(インプレス)などがある。



山本 伸 一般社団法人ビジネスモデルイノベーション協会(BMIA)理事 多摩大学医療・介護ソリューション研究所シニアフェロー

名古屋大学大学院修了(博士:工学)。外資系メーカー 3 社 16 年の経験を「イノベーションが起こせる組織づくり」へ活用すべく、2014 年に BMIA を設立し現職。上場企業、病院組織や産官学連携など異分野間の協働プロジェクトで、イノベーションが計画どおりに立ち上がる方法論の実践や人材開発を精力的に行っている。BMIA ではビジネスモデル・コンサルタントの養成、開発者の継続招聘、海外のデザイン思考や他メソッド開発者、実践者などの国内招聘・イベント企画・通訳兼進行役の実績を重ねている。

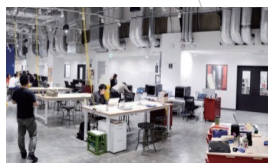


西村 真里子 株式会社 HEART CATCH 代表取締役 プロデューサー

国際基督教大学(ICU)卒。エンジニアとしてキャリアをスタートし、その後外資系企業のフィールドマーケティングマネージャー、デジタルクリエイティブ会社のプロデューサーを経て 2014 年株式会社 HEARTCATCH 設立。テクノロジー × デザイン × マーケティングを強みにプロデュース業や編集、ベンチャー向けのメンターを行う。Mistletoe 株式会社フェロー、日本テレビ SENSORS.jp 編集長。

※講師および講演者は、確定次第、Webサイトに掲載いたします

会員制オープンアクセス型DIY工房"TechShop Tokyo"の無償利用特典について



<http://www.techshop.jp/>

米国サンフランシスコ・ベイエリア生まれの"TechShop"は、「会員制オープンアクセス型DIY工房」です。広大な空間に、木工・金属加工などの本格的なDIYスペースのほか、3Dプリンターやレーザーカッターなど、最新鋭のデジタル工作機械を多数取り揃えており、会員は必要なトレーニングを受ければそれらの機材を使い放題。工房に集う人々が形成するコミュニティによって日々オープンイノベーションが実践され、これまでに100件を超えるビジネスが生み出されています。富士通は、米TechShop, Inc.との戦略的パートナーシップに基づき 2015年10月テックショップジャパン株式会社を設立。2016年4月には、アジア第1号店となる"TechShop Tokyo"を赤坂アークヒルズにグランドオープンしました。

本コース受講の皆様は、受講期間中この"TechShop Tokyo"をご利用いただけます。

セミナー価格 / お申し込み方法

■ 価格

1名あたり 200万円(税別)

■ お申込み

担当営業へのお申込み 6月30日締切

Webによるお申込み 6月12日締切

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

URL: <http://www.fujitsu.com/jp/college/> (製品情報) <https://cloud-direct.jp.fujitsu.com/> (Webによるお申込み)

FUJITSU Digital Business College

実務者向け「AI・Analytics」コース

『AI・データ分析を活用するイノベーター』



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

実務者向け「AI・Analytics」コース 『AI・データ分析を活用するイノベーター』

AI・機械学習・統計解析手法などの分析アプローチに加え、富士通の先端AI技術を活用し、データドリブンでビジネスにイノベーションを起こせる人材を育成します。

コース概要

デジタルビジネス時代においてイノベーションを創出するには、各種データ分析アプローチを駆使し、あらゆるデータから価値を引き出し、ビジネスに結び付けていくことが求められます。近年、業界・企業が保有するデータは種類も量も加速度的に増加しており、業界・企業を超えたデータ活用によるオープンイノベーションも期待されています。その一方で、データ戦略の立案・活用ができる人材の不足が喫緊の課題となっています。今やデータ分析のスキルは、情報部門だけではなく現場部門にも欠かせない必須スキルです。本プログラムでは、トラディショナルな統計解析手法と、富士通が30年以上にわたり培ってきたAI技術などの最新のデータ分析アプローチを適用し、業務改革、新規ビジネス創出を推進する力を身に付けます。

対象者

自組織において、業務改革または新規ビジネス創出の推進が求められる方

開催情報

定員30名（最低開催人数10名）

開催場所：富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンターおよびCO☆PITを中心に、東京近郊会場を予定

目指す人材像

「データ×ビジネス×ICT」の各分野の専門家をつなぎ合わせ、業務改革または新規ビジネス創出を推進できる

到達目標



トラディショナルな分析手法に加えて、機械学習、深層学習等のAI関連技術を説明できる。



組織のビジネス課題（既存の業務改革、新規ビジネス創出）に合わせた、データ活用のストーリーを描ける。



データ活用のストーリーから、必要なICT環境および分析手法の見当をつけ、各専門家に依頼できる。



ビジネスにおける代表的な分析手法については、独力で適用できる。また、結果も評価できる。



ビジネスの観点で分析結果を解釈し、ビジネスに活用するための施策を立案できる。

コース監修



松井 くにお 金沢工業大学 工学部 情報工学系 情報工学科教授

1980年 株式会社富士通研究所に入社

1999年 富士通(中国)研究開発中心を兼務

2007年 Fujitsu Laboratories of America にて Web 2.0 and beyond project に従事

2009年 ニフティ株式会社にて新規サービスビジネスを推進

2017年より現職

自然言語処理、情報検索、ナレッジマネジメントの研究開発に従事。情報処理学会理事、科学技術振興機構特任フェロー、静岡大学創造科学技術大学院特任教授、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム会議委員などを歴任。

開催日程

学習の流れ	日程	内容	講演・講師
データ活用 の 全体像を知る	7月20日(木)	データ分析をビジネスツールとして捉え、どう使い、どう結果を読み解き、どのように応用するかを学びます。 講演 「AI活用を実現する「Zinrai」」(原氏) 「ビジネス×データ分析」(豊田氏)	富士通株式会社 執行役員 原 裕貴 氏
	7月21日(金)	トピック 分析の概要(要約、関係性の把握、分類、縮約)、ケース実践	法政大学大学院 豊田 裕貴 教授
データ分析 アプローチの 体験① 統計学・BI	8月9日(水)	統計学・BI(Business Intelligence)によるデータ分析アプローチを実機で体験し、本アプローチで何ができるかを学びます。	
	8月10日(木)	トピック 分析基礎(Power BI、Tableau) 統計(統計的検定、ベイズ統計、多変量解析、因果推論)	
データ分析 アプローチの 体験② AI技術	8月23日(水)	AI(機械学習・Deep Learning・各種API)技術を適用したデータ分析アプローチを実機で体験し、本アプローチで何ができるかを学びます。	富士通 AI Zinrai 技術講師 日本アイ・ビー・エム アイ・ラーニング
	8月24日(木)	トピック Microsoft Azure、 FUJITSU Human Centric AI Zinrai、 IBM Watson	
	9月7日(木)		
データ活用 ワークショップ (アイデアソン)	9月14日(木)	AIをビジネスや社会でどのように活用できるかを「デザイン思考×共創ワークショップ」および富士通オリジナルのツールを使いながら、グループワークを通じて未来を創造しアイデアを出していきます。	富士通デザイン ワークショップ デザイナー
プログラムによる データハンドリング と分析	9月26日(火)	データの収集、加工、分析、評価に必要なコーディングスキルを身に付けます。サービスやプロダクトに依存しない、データ分析で必須となる基礎技術を演習を中心に学びます。	ニューヨーク大学 関根 聡 研究准教授
	9月27日(水)	講演 「最先端AI技術がもたらすイノベーション ―自然言語処理―」 (関根氏)	
	10月11日(水)	トピック Pythonプログラミング、 機械学習(回帰、分類、クラスタリング)、 データの取り扱い(文字列操作、辞書、JSON、REST APIなど)、 データ加工、データ分析体験	
	10月12日(木)		
データ活用 ケース実践	10月23日(月)	マーケティングやソーシャルなど、ケースに基づいたデータ活用プロセス(目的設定、データ準備、データ分析、結果からの提言)を実践し、ビジネスへの適用観点を学びます。	法政大学大学院 豊田 裕貴 教授
	10月25日(水)	講演 事例紹介「マーケティング」(豊田氏) 事例紹介「ソーシャル」	
	11月9日(木)	トピック ケース実践(目的設定、収集、加工、分析、評価、提言) ケース① マーケティング ケース② ソーシャル	ソーシャル関連有識者 (大学教授)
	11月10日(金)		
データ活用 ワークショップ (ハッカソン)	11月17日(金)	ビジネスへつながるアウトプットを目指し、AI技術を用いてリアルな問題を解くプロトタイプを作成する、ハッカソン型ワークショップです。ハッカソンを通じてアイデアを具現化・試作する一連のプロセスを体験します。	金沢工業大学 松井 くにお 教授
	11月24日(金)	講演 事例紹介「組織としてのイノベーション創出」(松井氏)	富士通研究所 ・富士通株式会社 AI技術サポーター
データに基づく 問題解決実践	12月6日(水)	自組織の課題に対する分析プロジェクトを発足し、データに基づく課題解決を実践します。富士通のデータ分析コンサルタントのアドバイスを受けながら、自組織の課題解決や新規事業創出に向けた分析プロジェクトを進めます。 講演 事例紹介「交通」	交通関連有識者 (大学教授)
	12月7日(木)		株式会社富士通総研 データ分析 コンサルタント
	12月13日(水)		
	12月14日(木)		
	12月20日(水)		
	12月21日(木)		

富士通ラーニングメディア AI・Analytics 担当講師

【講義時間】 9:00～17:00

< 本資料は、2017年5月25日(木)時点での情報です。内容・日程・登壇者は変更になる場合があります。 >

講師および講演者ご紹介



豊田 裕貴 法政大学経営大学院 イノベーション・マネジメント研究科 教授

法政大学経営学部卒業、同大学院にて経営学修士号 (MBA)、経営学博士号 (DBM) を取得。その間マーケティング・リサーチの実務を経て、2004 年 4 月より多摩大学経営情報学部マネジメントデザイン学科助教授、2015 年より現職。

専門はマーケティングリサーチ、マーケティング。

『これ一冊で完璧！Excel でデータ分析 即戦力講座』『すぐやってみたくなる！データ分析がぐるとわかる本』『知識ゼロからの売れる消費者心理学』『知識ゼロからのビジネス統計学入門』『現場(ビジネス)で使える統計学』など、マーケティング分野に関する書籍を多数執筆。



関根 聡 ニューヨーク大学 研究准教授

ニューヨーク大学研究准教授、文科省革新知能統合研究センター言語情報アクセス技術チームリーダー、ランゲージ・クラフト主任研究員。英国マンチェスター大学計算言語学部修士号、ニューヨーク大学コンピューターサイエンス学部博士号を取得。

松下電器産業株式会社、ソニー CSL、マイクロソフト研究所、楽天技術研究所ニューヨークなどでの研究職を歴任。専門は自然言語処理。特に情報抽出、固有表現抽出、質問応答、情報アクセスの研究に従事。



原 裕貴 富士通株式会社 執行役員

1984 年 3 月 東京大学理学部情報科学科卒業。

同年 4 月、富士通研究所入社。

1991 年 MIT オペレーションズリサーチセンター客員研究員。

1996 年 5 月 博士 (工学) 東京大学。

2004 年同社 IT コア研究所ソフトウェアイノベーション研究部長、

2009 年ソフトウェア&ソリューション研究所長、

2013 年ソーシャルイノベーション研究所長、

2015 年知識情報処理研究所長、同年取締役就任。

2017 年 4 月 富士通株式会社執行役員就任。

※講師および講演者は、確定次第、Webサイトに掲載いたします

セミナー価格 / お申し込み方法

■ 価格

1名あたり 200万円 (税別)

■ お申込み

担当営業へのお申込み 6月30日締切

Webによるお申込み 6月12日締切

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン(総合窓口) 0120-933-200

受付時間 9:00~17:30(土・日・祝日・年末年始を除く)

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

URL: <http://www.fujitsu.com/jp/college/> (製品情報) <https://cloud-direct.jp.fujitsu.com/> (Webによるお申込み)

FUJITSU Digital Business College 実務者向け「Security」コース 『Cybersecurity CSIRT コマンドー』



shaping tomorrow with you

社会とお客様の豊かな未来のために

実務者向け「Security」コース 『Cybersecurity CSIRT コマンダー』

世界中のICTインフラを支える富士通のノウハウ、最先端サイバー対策訓練環境を使い、インシデント発生時に中核的存在となる「コマンダー」としてのスキルやセキュリティ運用で必要とされる知識を習得します。

コース概要

組織のセキュリティインシデントを全体統括する役割であるCSIRTのコマンダーを目指すリーダークラスの実務者を対象に、サイバー攻撃とそのインシデント対応について最先端の訓練環境で実践的に学習するコースです。まず、セキュリティトレンドを知るところから始まり、今後の動向を予測する「サイバーインテリジェンス」について学びます。その後インシデント対応に必要な前提知識の学習と実践的な演習、発生するインシデントに対するマネジメントを体感することで、自社内のインシデントに対応できるコマンダーを育成します。なお本コースには、実践的な研修が可能な富士通の「サイバーレンジ」での実習も含まれます。

対象者

情報システム部門実務者のリーダー層

開催情報

定員20名（最低開催人数10名）

開催場所：富士通ラーニングメディア品川ラーニングセンター

目指す人材像

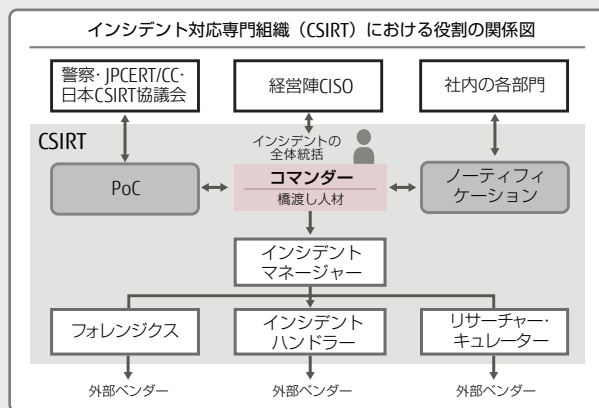
経営陣やサービスデスク向けの分かりやすい調整能力、社内調整担当者との連携能力を有し、自組織で起きているセキュリティインシデントの全体統制を行う。重大なインシデントに関してはCISO（Chief Information Security Officer）や経営層との情報連携を行う。また、CISOや経営層が意思決定する際の支援を行う。

CSIRT コマンダーとは

■ 役割 自社で起きているセキュリティインシデントの全体統制を行う。重大なインシデントに関してはCISOや経営層との情報連携を行う。また、CISOや経営層が意思決定する際の支援を行う。

■ 主な能力 経営陣やPoC向けのわかりやすい説明能力、および社内調整担当者との連携能力

（出典：『CSIRT人材の定義と確保（Ver.1.0）補足資料』、日本コンピュータセキュリティインシデント対応チーム協議会（CSIRT人材サブワーキンググループ、2016年）



到達目標



セキュリティトレンドを知り、適切な対策について検討できる



昨今の攻撃傾向を踏まえ、ポイントを押さえたシステム設計方針の知識を持ち経営層に説明できる



インシデント発生時に求められる初動対応の手順を実行できる



インシデントの全体像をとらえコマンダーの役割を技術や業務を踏まえながら遂行することができる

コース監修



佐々木 良一 東京電機大学 教授

平成13年4月より、東京電機大学 教授、工学博士（東京大学）

昭和46年東京大学卒業、同年4月日立製作所入社。

システム開発研究所にてシステム高信頼化技術、セキュリティ技術、ネットワーク管理システム等の研究開発に従事。平成14年情報処理学会論文賞受賞、平成19年総務大臣表彰。国立情報学研究所客員教授。

日本セキュリティ・マネジメント学会会長、デジタル・フォレンジック研究会会長、内閣官房サイバーセキュリティ補佐官などを歴任。

開催日程

学習の流れ	日程	内容	講演・講師
セキュリティトレンドを学ぶ	7月18日(火)	セキュリティの全体像、サイバーインテリジェンス関連法規について学びます。 講演 佐々木 教授	東京電機大学 佐々木 良一 教授
	7月21日(金)	トピック セキュリティトレンド、セキュリティレポート、セキュリティ情報の調べ方・集め方	富士通株式会社 セキュリティ担当
	7月27日(木)	ISMS (Information Security Management System) について学びます。	
	7月28日(金)	トピック ポリシー、リスク分析、PDCA、認証基準	
サイバーリスク分析とリスクマネジメントフレームワークを学ぶ	8月3日(木)	リスクマネジメントと経営について学びます。	株式会社富士通総研 コンサルタント
	8月24日(木)	サイバーリスク分析について学びます。業種共通のガイドラインをとおして、セキュリティに関する自社に適用する重点・優先順位付けの考え方を習得します。	富士通株式会社 セキュリティ担当
	8月25日(金)	トピック ISO27001、ISO15408、対策予算と優先順位付け・割り当て	
	8月29日(火)	セキュリティにおけるインフラ設計、Webアプリ設計を学びます。	富士通株式会社 セキュリティ担当 EGセキュアソリューションズ株式会社 徳丸 浩 代表取締役
実践的なインシデント対応を学ぶ	9月4日(月)	サイバーレンジを用い、実際に企業に行われた攻撃事例を起因とした解析を行います。	
	9月5日(火)	トピック セキュリティアタックの体験、アタック内容の解明、保全、フォレンジック、ログ解析	
	9月21日(木)	サーバー攻撃におけるインシデント対応を学びます。 トピック CSIRT、保全、フォレンジック	
	9月22日(金)	セキュリティに関連する、ICT技術を学びます。	
サイバー攻撃におけるインシデント対応を知る	10月5日(木)	サイバー攻撃手法と攻撃検知手法を学びます。	富士通株式会社 セキュリティ担当
	10月6日(金)	トピック 各種サーバの役割、Cyber Kill Chain、IDS、Proxy、ログの一元管理	
	10月16日(月)	次々に起こるインシデントに対応するためのトリアージの考え方を学びます。 トピック レジリエンス	株式会社富士通総研 コンサルタント
	10月17日(火)	ICT部門の業務継続計画 (ICT-BCP) について学びます。	
IoTセキュリティと制御システムセキュリティを学ぶ	11月13日(月)	工場・プラント・IoTなど制御システムでのセキュリティを学びます。 講演 制御システムセキュリティ トピック 制御システムの安全とセキュリティ、IEC62443、HAZAP、ICS-BCP	名古屋工業大学 越島 一郎 教授
	11月16日(木)		
	11月21日(火)		
	11月24日(金)		
実践的なインシデント対応訓練	12月7日(木)	サイバーレンジを使用し、全日程の総まとめとして、総合演習を行います。CSIRTコマンダーとしての各役割のプロジェクトベースの課題を通して、訓練します。	富士通株式会社 セキュリティ担当
	12月8日(金)		株式会社富士通総研 コンサルタント
	12月21日(木)		
	12月22日(金)		

富士通ラーニングメディア 認定講師

【講義時間】 9:00～17:00

< 本資料は、2017年5月25日(木)時点での情報です。内容・日程・登壇者は変更になる場合があります。>

講師および講演者ご紹介



徳丸 浩 EG セキュアソリューションズ株式会社 代表取締役

1985 年京セラ株式会社に入社後、ソフトウェアの開発、企画に従事。1999年に携帯電話向け認証課金基盤の方式設計を担当したことをきっかけに Web アプリケーションのセキュリティに興味を持つ。2004 年同分野を事業化。2008 年独立して、Web アプリケーションセキュリティを専門分野とする HASH コンサルティング株式会社（現 EG セキュアソリューションズ株式会社）を設立。2015 年イー・ガーディアングループに参画。脆弱性診断やコンサルティング業務のかたわら、ブログや勉強会などを通じてセキュリティの啓蒙活動をおこなっている。著書に、「徳丸浩の Web セキュリティ教室」（日経 BP 社）「体系的に学ぶ 安全な Web アプリケーションの作り方 脆弱性が生まれる原理と対策の実践」（ソフトバンククリエイティブ）がある。

EG セキュアソリューションズ株式会社代表、京セラコミュニケーションシステム株式会社技術顧問、独立行政法人情報処理推進機構（IPA）非常勤研究員。技術士（情報工学部門）。

徳丸浩の日記 <http://blog.tokumaru.org/> Twitter ID は @ockeghem



越島 一郎 名古屋工業大学大学院 工学研究科社会工学専攻（経営システム分野）教授（博士（工学））

エンジニアリング会社に 1979 ～ 98 年の 19 年間所属、その間に化学プラント建設から宇宙ステーション「きぼう」搭載機器開発まで、エンジニアリング・プロジェクトに参画

1998 年より千葉工業大学に新設されたプロジェクトマネジメント学科にて、助教授・教授としてプロジェクト・エンジニアを実践教育
2008 年より現職。現在は、安全や事業継続を踏まえた上で、重要インフラ防御のための制御システムセキュリティを研究



奥原 雅之 富士通株式会社 サイバーディフェンスセンター長

富士通株式会社 サイバーディフェンスセンター長。

1990 年 富士通株式会社入社

2010 年 9 月 同社 クラウド CERT 室長に就任

2015 年 6 月 同社 サイバーディフェンスセンター長に就任 現在に至る

CISSP, CISA, PCIDSS QSA, 公認情報システム監査人

※講師および講演者は、確定次第、Webサイトに掲載いたします

サイバーレンジ

サイバーレンジとは、実践的なサイバー攻撃とその防御の演習が可能な、ネットワーク上に構築する仮想空間です。富士通の持つ、最先端の訓練環境で実践的な研修を行います。



サイバーレンジ演習イメージ

セミナー価格 / お申し込み方法

■ 価格

1名あたり 200万円（税別）

■ お申込み

担当営業へのお申込み 6月30日締切

Webによるお申込み 6月12日締切

お問い合わせ先

富士通コンタクトライン（総合窓口）0120-933-200

受付時間 9:00～17:30（土・日・祝日・年末年始を除く）

富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋1-5-2 汐留シティセンター

URL: <http://www.fujitsu.com/jp/college/>（製品情報） <https://cloud-direct.jp.fujitsu.com/>（Webによるお申込み）